

## 1. 評価結果概要表

作成日平成21年10月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3771600636
法人名	有限会社新名防災設備
事業所名	グループホーム青い鳥
所在地	香川県仲多度郡多度津町葛原451-1 (電話)0877-32-0037

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年9月9日	評価決定日	平成21年10月16日

## 【情報提供票より】(21年8月10日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年9月15日				
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人		
職員数	19人	常勤	12人, 非常勤	7人, 常勤換算	14.1人

## (2)建物概要

建物構造	鉄骨2階建造り 2階建ての1階~2階部分
------	-------------------------

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,500円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	有( )円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	210円	昼食	525円
	夕食	525円	おやつ	105円
	または1日当たり 円			

## (4)利用者の概要(9月7日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名	
要介護1	3名	要介護2	4名			
要介護3	7名	要介護4	3名			
要介護5	1名	要支援2	0名			
年齢	平均	85.6歳	最低	76歳	最高	95歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	岡部医院 たかぎ歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな田園地帯にあるこの事業所は、広い吹き抜け部分から自然光を取り入れた、緑の癒しの空間がある。職員のチームワークと接遇の良さは、非常に心地良さを感じる。管理者、職員は、一人ひとりの尊厳を大切に、日々の暮らしの中で楽しみや季節の移ろいを感じてもらえるよう、きめ細やかなケアを実践している。一人ひとりの有する力を活かせる役割を持ってもらい、感謝の言葉を忘れない。そのため利用者が家庭的で落ちついた雰囲気の中でゆったりと過ごしている様子がうかがえた。看護職による健康管理や、近くにある協力医療機関から定期的な往診があることは、利用者や家族等の安心した生活につながっている。今後の活躍が一層期待されるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、理念に基づく運営の部分で改善課題があったが、管理者、職員は課題を共有して一丸となり、具体的に改善する等、意欲的に取り組み、運営に反映させている。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、評価の意義を理解しており、自己評価は、全職員がそれぞれに取り組み管理者がまとめた。評価をすることで自分自身や事業所のケアを振り返ることができ、今後のサービスの質の向上に活かしたいと前向きな姿勢がうかがえる。
重点項目	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、利用者家族代表、地区老人会会長、町福祉保健課、地域包括支援センター、事業所代表等の参加で開催している。事業所の現状や今後取り組みたい事等を報告して意見交換がなされている。職員は、出された意見や要望等を記録して共有し、運営に反映させている。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族等の来訪時には、利用者の暮らしぶりや健康状態を報告したり、気軽に意見、苦情、不安等に思っていることを出しやすい雰囲気づくりに配慮している。管理者、職員は、得られた情報を共有して、迅速な対応に努めている。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日々の挨拶や、ボランティアの訪問、秋祭りに獅子舞が来たり、事業所の夏祭り時の募金で地域へ車いすを送る等、地域との連携も次第に深まりつつある。今後は、事業所を地域に開放したり、管理者や職員の豊富な介護経験を活かして、認知症ケアの相談窓口や、出前講座等に行く等の取り組みに期待したい。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念を基に、事業所がめざす独自の4項目の具体的な理念をつくりあげている。	○	地域密着型サービスの役割を十分理解して運営をしている。住み慣れた地域での生活を支えていく理念を、付け加えることに期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、毎日申し送りの後で、理念を復唱して確認しあい、言葉かけや記録等日々の実践に反映させている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日々の挨拶やボランティアの訪問、秋祭りには獅子舞が来たり、事業所の夏祭りの募金で地域へ車いすを送る等、地域と交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、評価をする意義を理解しており、自己評価は全職員がそれぞれに取り組み管理者がまとめた。前回評価の改善課題については、全職員が共有し、改善出来るところから取り組み、運営に反映させている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、事業所の現状や、今後取り組んでいきたいこと等を報告して意見交換がなされている。職員は、出された意見や要望等を記録して共有し、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、町の窓口で質問や相談に行き助言を得たり、町側からもよく情報をもらったりして、町とともにサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の来訪時には、利用者の日頃の暮らしぶりや健康状態等細かく報告をしている。状況に応じて「青い鳥からのお便り」を送ったり、電話等で個別の報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ふれあいボックスを設置したり、家族等の来訪時には、笑顔で挨拶をして話しやすい雰囲気づくりに努めている。苦情等を外部へ表す機関も紹介している。出された意見、不満、苦情等を管理者、職員は、共有して迅速に対応し、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に社内の異動はなく、利用者や職員は、常に2ユニットとも交流をしているため、馴染みの管理者や職員による支援を受けている。もし、代わる場合は、出来るだけ引継ぎ期間を設ける等、利用者へのダメージを最小限に抑える努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、管理者、職員の段階に応じて外部研修に参加する機会をもち、資格取得の推進にも努めている。研修参加者は、内部で報告をしている。	○	全員が集まり、定期的に行われる会議の後等を利用し、年間計画を立てて、内部研修を位置づけていく取り組みに期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、職員は、段階に応じて地域の同業者と交流する機会をもち、相談や情報交換を行っている。今月末には、3事業所合同で「接遇研修」が予定されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設している小規模多機能型居宅介護事業所を利用しながら事業所と交流を保ち、他の利用者や職員と徐々に馴染んでから入居してもらっている。職員は、家庭訪問をして生活歴や意向の把握に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者一人ひとりの思いや立場に立って、畑仕事や昔からの慣わし等を教わったり、そういった場面を多くもてるよう工夫や声かけをして穏やかな生活を支えあっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけて、言葉や表情、しぐさ等から汲み出す努力をしたり、家族等や関係者の些細な情報も得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族等の来訪時に担当者会議を開き、再度、全職員で意見交換を行い、それぞれの意見やアイデアを活かした個別の具体的な介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月に1回の評価と3カ月毎の見直しを行っているが、関係者の新しい情報や気づき、利用者の状態の変化や要望があれば、迅速に対応出来るよう新たな介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況により、受診や特別な外出支援を行う等、柔軟な対応を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人や家族等の希望を大切にしている。事業所は、常に連絡を密にして、適切な医療が受けられるように支援している。協力医療機関からは、定期的な往診があり、いろいろ相談をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所の出来る事と出来ない事を見極めて終末期に対する対応を定めており、入居時に主治医や家族等と話し合い、最善のケアが受けられるよう方針の統一を図り、関係者全員が共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で、利用者のプライバシーや気分を損ねるような言葉かけや対応はしていない。記録等個人情報の取り扱いも徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはもっているが、一人ひとりの生活のリズムを尊重して、見守りながらその人のペースに合わせた支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理員がメニューを作るが、希望が出ればその都度変更している。利用者と職員は、同じテーブルを囲み楽しく話をしながら食事をしている。食後の片づけや洗い物が出来る人は、職員と一緒にいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯にこだわらず、一人ひとりの希望する時間に入浴を楽しんでいる。現在、夜間入浴を希望する人はいない。入浴を拒む場合は、言葉かけや時間を変えたり職員が代わる等、対応に工夫している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	管理者、職員は、一人ひとりの生活歴や趣味、得意とするものを把握して共有しており、お願い出来るような事を頼み、役割、楽しみ、気晴らしの支援をして感謝の言葉を伝えている。	○	管理者、職員は、クラブ活動のように継続して行える楽しみ事を支援したいと非常に前向きである。今後は、更に本人や家族等の希望や喜びにつながる事を求めていくことに期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候にもよるが、毎日の散歩を基本にしている。ドライブや外食等の機会も多く、利用者は楽しみにして大変喜ばれている。重症の人にも10分位の外気浴を促し、季節の移ろいを感じてもらっている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを設置している。見守りを徹底して外出しそうな気配を感じたら一緒に歩く。管理者、職員は、日中玄関の鍵をかけることの弊害を十分理解しているが、常時鍵をかけないケアは困難で、家族の了解を得て、状況により施錠している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害マニュアルを作成して年2回防災訓練を実施している。元職員や管理者の知人を通じて、地域の人々の協力が得られるよう努めている。また、事業所は、地域の災害等、緊急時の受け入れが出来る体制を整えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は、一人ひとりの摂取状態や習慣等を共有して、細やかな支援をしている。食事や水分摂取量を記録して把握し、少ない時は主治医に報告して指示を仰いでいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、自然光を取り入れ適度に明るく、利用者が作った季節を感じる素晴らしい貼り絵が飾られている。また、利用者それぞれ居場所の確保があり、思い思いの場所でゆったりと過ごされている様子がうかがえた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのベッド、クローゼット以外は、利用者の使い慣れた馴染みの物を活かしたり、写真や手作りの作品を飾る等、その人らしく安心して暮らせるよう工夫がなされている。		